

国内における高病原性鳥インフルエンザの発生・検出状況(平成28年11月以降)

(平成28年12月21日14時時点)

家きん ● : 確定事例(4道県6事例)
すべてH5N6亜型

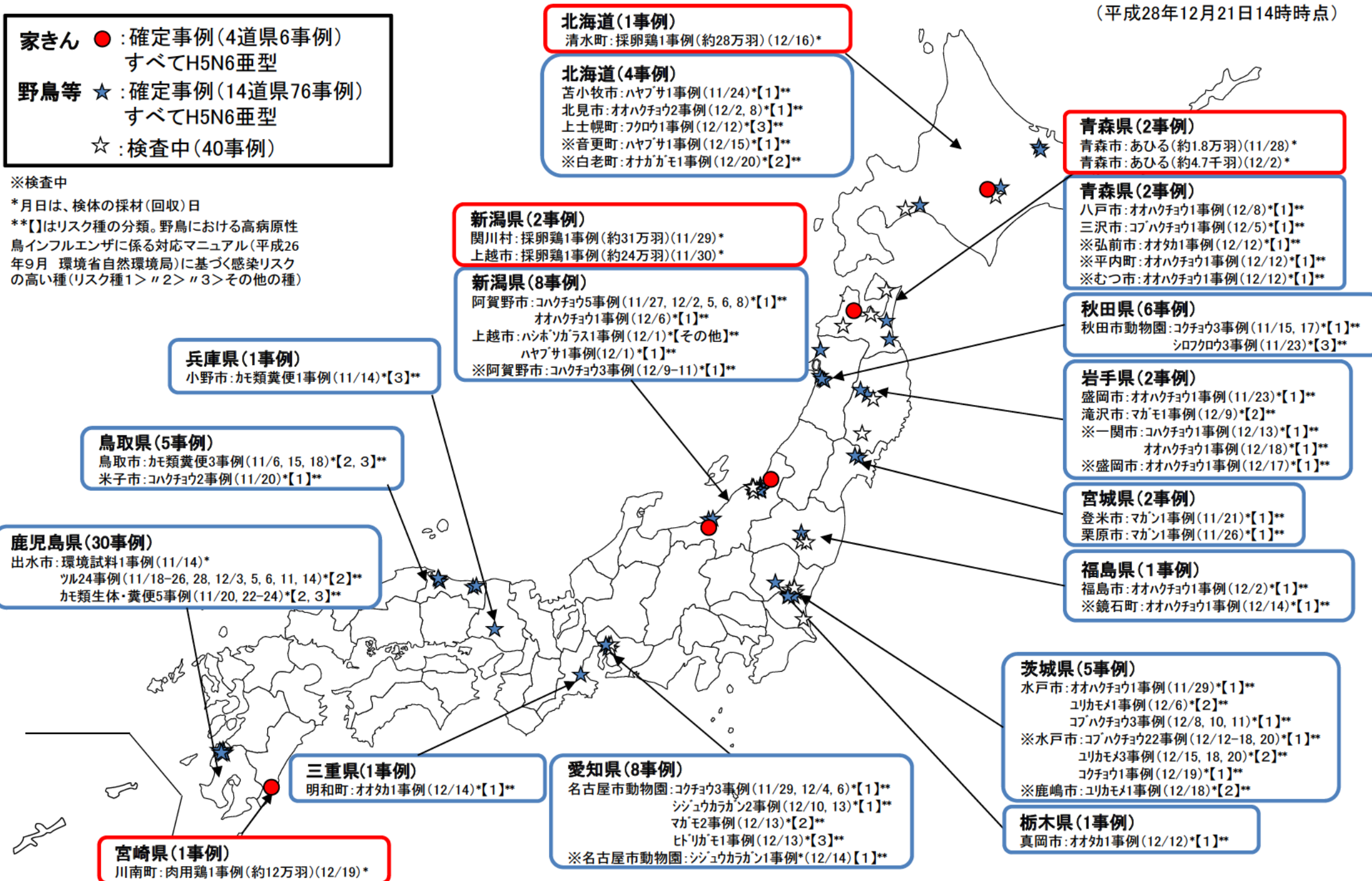
野鳥等 ☆ : 確定事例(14道県76事例)
すべてH5N6亜型

☆ : 検査中(40事例)

※検査中

* 月日は、検体の採材(回収)日

**【】はリスク種の種類。野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応マニュアル(平成26年9月 環境省自然環境局)に基づく感染リスクの高い種(リスク種1>"2">"3">その他の種)



北海道(1事例)
清水町: 採卵鶏1事例(約28万羽)(12/16)*

北海道(4事例)
苫小牧市: ハヤブサ1事例(11/24)*【1】**
北見市: オオハクチョウ2事例(12/2, 8)*【1】**
上士幌町: フクロウ1事例(12/12)*【3】**
※音更町: ハヤブサ1事例(12/15)*【1】**
※白老町: オナガガモ1事例(12/20)*【2】**

新潟県(2事例)
関川村: 採卵鶏1事例(約31万羽)(11/29)*
上越市: 採卵鶏1事例(約24万羽)(11/30)*

新潟県(8事例)
阿賀野市: コハクチョウ5事例(11/27, 12/2, 5, 6, 8)*【1】**
オオハクチョウ1事例(12/6)*【1】**
上越市: ハシホソガラス1事例(12/1)*【その他】**
ハヤブサ1事例(12/1)*【1】**
※阿賀野市: コハクチョウ3事例(12/9-11)*【1】**

兵庫県(1事例)
小野市: カモ類糞便1事例(11/14)*【3】**

鳥取県(5事例)
鳥取市: カモ類糞便3事例(11/6, 15, 18)*【2, 3】**
米子市: コハクチョウ2事例(11/20)*【1】**

鹿児島県(30事例)
出水市: 環境試料1事例(11/14)*
ツル24事例(11/18-26, 28, 12/3, 5, 6, 11, 14)*【2】**
カモ類生体・糞便5事例(11/20, 22-24)*【2, 3】**

青森県(2事例)
青森市: あひる(約1.8万羽)(11/28)*
青森市: あひる(約4.7千羽)(12/2)*

青森県(2事例)
八戸市: オオハクチョウ1事例(12/8)*【1】**
三沢市: コハクチョウ1事例(12/5)*【1】**
※弘前市: オオハクチョウ1事例(12/12)*【1】**
※平内町: オオハクチョウ1事例(12/12)*【1】**
※むつ市: オオハクチョウ1事例(12/12)*【1】**

秋田県(6事例)
秋田市動物園: コクチョウ3事例(11/15, 17)*【1】**
シロアケウ3事例(11/23)*【3】**

岩手県(2事例)
盛岡市: オオハクチョウ1事例(11/23)*【1】**
滝沢市: マガモ1事例(12/9)*【2】**
※一関市: コハクチョウ1事例(12/13)*【1】**
オオハクチョウ1事例(12/18)*【1】**
※盛岡市: オオハクチョウ1事例(12/17)*【1】**

宮城県(2事例)
登米市: マガン1事例(11/21)*【1】**
栗原市: マガン1事例(11/26)*【1】**

福島県(1事例)
福島市: オオハクチョウ1事例(12/2)*【1】**
※鏡石町: オオハクチョウ1事例(12/14)*【1】**

茨城県(5事例)
水戸市: オオハクチョウ1事例(11/29)*【1】**
ユリカモ1事例(12/6)*【2】**
コハクチョウ3事例(12/8, 10, 11)*【1】**
※水戸市: コハクチョウ22事例(12/12-18, 20)*【1】**
ユリカモ3事例(12/15, 18, 20)*【2】**
コクチョウ1事例(12/19)*【1】**
※鹿嶋市: ユリカモ1事例(12/18)*【2】**

栃木県(1事例)
真岡市: オオハクチョウ1事例(12/12)*【1】**

三重県(1事例)
明和町: オオハクチョウ1事例(12/14)*【1】**

愛知県(8事例)
名古屋市動物園: コクチョウ3事例(11/29, 12/4, 6)*【1】**
シジュウカラガン2事例(12/10, 13)*【1】**
マガモ2事例(12/13)*【2】**
ヒトリカモ1事例(12/13)*【3】**
※名古屋市動物園: シジュウカラガン1事例(12/14)*【1】**

宮崎県(1事例)
川南町: 肉用鶏1事例(約12万羽)(12/19)*